

## 2012年アセンション日記 三和

2012年12月を観じてみると

時間の巻き戻し  
創始の光の発現 光の源 源の光  
汲めども尽きぬ光の泉  
それは愛の基  
「おかえり おかえり」  
根源の母が  
唯一無二の存在である子供たち（人類）を  
アセンションの門で お出迎え  
一人、一人を抱きしめ 愛おしむ  
祝祭の刻  
それが2012年12月。

このアカデミーで皆と共に学んできた今年1月からの歩み。それは1か月が1段の階段のようになっていて、1段ごとに違うエネルギーが満ちてくる奇跡の1年。その時の目の前の課題に、集中して取り組むことが、次のステップの準備にもなっているすごいシステムで、この中で皆と共に学べたからこそ、この私でも前進できたとつくづく思います。

学びにつれて、この世界の全てが「愛」であることが少しずつ納得できるようになってきました。20代までのアトピー、そして30代からはリウマチによる絶え間ない痛み、生きていることに疲れていた今までの人生の全てが「感謝」へと変容する瞬間もありました。このアカデミーで学び、実感し、マスターできた「宇宙の法則」を生活の中で実践して、皆でシェアしあうことで、さらに多角的に応用、拡大していけます。

私の体験ですが、神聖さを探究するときに見出した「全てに感謝」のエネルギーゾーンにフォーカスすることを続けていると、豊かな現象が次から次へと、本当に丁度良いタイミングで起きてくるようになり、また益々感謝が膨らんでいくという嬉しい循環の輪の中に入ってきました。

「一度体験したエネルギーは再現できる」これもここで学んだことです。一定期間一生懸命再現することに集中していると、次はふっと思い浮かべただけでそのエネルギーに繋がりが、次は言葉だけでそのエネルギーに成ることが出来るように加速していきます。太陽の探究をしているときは、まるで太陽の中に住んでいる様な感覚で過ごしていました。

高次のマスターの見守りのもと、人間存在の本質と、宇宙のシステムを知り尽くしたAi先生とファシリテーターによるサポートを受けて、既存の真理と覚醒探究の道からは信じられないほどのスピードで学びは進行していきました。高次とのコラボができるまでに。

この一年を振り返ると、古い情報の本を100冊、また100冊と学びの過程で捨ててきました。そしてたどり着いた12月、アセンションの門をくぐれるのは、幼子の様に純粹で透明な魂の持ち主だけのこと。楽しいですね^^